

# 令和4年度学校自己評価システムシート (県立川口青陵高等学校)

S25

目指す学校像	地域と連携して自立を支援し、「進んで学び、実践できる生徒」を育成する学校
--------	--------------------------------------

重点目標	1 授業と学習支援を充実させ、学力の向上を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」を促す 2 きめ細かな生徒指導と特別活動・部活動の充実により、生徒の自律心と社会性を身に付けさせる 3 多様な進路に対応するきめ細かな進路指導により、生徒の進路希望を実現させる 4 学校の情報発信と、地域・保護者との連携を積極的に推進し、社会に貢献できる生徒を育成する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<b>【現状】</b> ○生徒の授業への取り組み態度は大変良好である。朝学習から授業への流れも定着し、学びの姿勢が向上している。 ○ICT機器を活用した授業が増えている。教材の工夫等、わかりやすく魅力ある授業が展開されている。 <b>【課題】</b> ○部活動等との両立を目指しながら学習時間を確保し、さらなる主体的な学習へと変えていく必要がある。 ○「主体的・対話的で深い学び」と生徒の進路実現に必要な学力をつける授業を行う必要がある。	○主体的学習を促す取組と生徒の学力の向上	①朝学習の内容を工夫 ②各教科で計画的な週末課題を提示 ③家庭学習時間の確保 ④手帳を活用した日々のスケジュール管理とすきま学習の奨励 ⑤進路希望に応じた面談・補習等の実施	①朝学習の内容の工夫の状況 ②週末課題の提示状況 ③生徒アンケート「授業以外の学習時間」の取組状況 ④手帳の有効な活用状況 ⑤学習支援の取組状況 ①～⑤成績上位者・欠点保持者の数 ①～⑤学びの基礎診断テストの結果		
		○授業改善の取組状況と、授業力の向上	①教員間授業観察週間の設置 ②授業改善に係る教科会の活用 ③ICT活用や「未来学び」等の研究授業を充実させる ④授業力向上研修会を実施 ⑤ICTに係る授業支援環境の整備	①教員間授業観察の実施状況 ②授業改善の教科会の実施状況 ③研究授業の実施状況 ④授業力向上の研修会の実施状況 ①～⑤生徒アンケート「授業のわかりやすさ」、「授業改善」の状況		
2	<b>【現状】</b> ○組織的で丁寧な生徒指導・支援が行われており、生徒は規律ある学校生活を送っている。部活動の実績も急伸している。 <b>【課題】</b> ○9割以上が自転車通学。車との接触事故も多い。交通マナーにも留意した交通安全指導の充実が必要である。 ○長欠者等、心の悩みを抱える生徒の支援の充実が必要である ○本校の「売り」である、部活動の更なる活性化と特別活動等では生徒のより主体的な取組を増やす必要がある	○丁寧な生徒指導・支援と交通安全指導の充実	①生徒指導に係る職員研修会の実施 ②SC他専門支援員との連携 ③自転車マナーアップ推進校として警察との連携	①研修会の実施状況 ②専門支援員の活用状況と連携 ②長欠者の数、相談の状況 ③交通事故の件数		
		○部活動・特別活動の更なる活性化	①部活動加入率を増やす ②部活動委員会を機能させる ③施設・クラブ等々の活動環境の整備 ④コロナ禍での特別活動・学校行事の実施方法を工夫 ⑤ボランティア活動、地域との交流を活性化	①学年別の部活動の加入率 ②部活動の実績と成果 ③施設・設備の改善状況 ④特別活動の実施状況と生徒アンケート「行事に積極的に参加」の割合 ⑤ボランティア活動、地域との交流活動の実施状況		
3	<b>【現状】</b> ○近年進学率が急上昇。進学実績の向上も見られる。就職についても内定率100%を実現している。 <b>【課題】</b> ○進学では、生徒に一つ上の進路実現をさせる ○就職では、第一希望の会社への就職と離職率ゼロを目指す	○生徒の第1希望の進路実現	①学びの基礎診断テストの有効活用 ②組織的な進路指導・補習体制を強化する ③進路支援機関や専門支援員との連携を強化 ④手帳甲子園やキャリアパスポート等の活用による進路意識の向上 ⑤地元企業の連携を強め新たな進路先を開拓する	①面談・学年会等での活用状況 ②進学補習の開講状況 ③④キャリア教育に係る啓発的取組の実施状況 ①～⑤生徒・保護者アンケート「進路指導充実度」の割合 ①～⑤進路実績状況		
4	<b>【現状】</b> ○コロナ禍の制限の中でも広報活動の工夫を行っている。 ○コロナ禍の中、昨年度は十分なPTA活動や地域との交流はできなかった <b>【課題】</b> ○ここ数年、入試倍率の低下傾向が見られる。伸び盛りの本校の魅力を中学校や地域に積極的に発信する必要がある。 ○PTA活動や地域との交流を昨年度より活性化させる必要がある。	○コロナ禍の中での効果的な広報活動の展開	①学校説明会を復活させる ②教職員、保護者、生徒が広報マンとなって本校の魅力をPRする ③HPの記事アップと内容の充実を組織的に行う ④中学校や塾への情報提供	①学校説明会への参加状況 ②組織的な広報活動の実施状況 ③HPの更新状況 ①～④中学生の本校への希望状況		
		○コロナ禍の中でのPTA活動、地域との交流活動の工夫と活性化	①開催方法の工夫で文化祭等の学校行事へのPTAの参画を増やす ②施設・設備の整備に、PTA・後援会の予算を効果的に活用する ③部活動や生徒会活動等で小・中学との交流事業を実施 ④地域清掃活動とボランティア活動等の実施で地域との交流を増やす	①保護者の学校行事への参加状況 ①保護者アンケート「入学満足度」の状況 ②予算の効果的な活用状況 ③小・中学との交流事業の実施状況 ④地域の清掃・ボランティア活動等、地域との交流活動の実施状況		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	